

甲斐市立玉幡小学校 令和4年度 学校だより 第5号



チーム玉幡

令和4年6月21日 文責：小林 正彦

雨にも負けず…，
でも、雨も大切！



6月というと、長雨の梅雨がある時期です。梅雨の時期の始まりを「梅雨入り」や「入梅」と言い、子どもたちにとっては外で遊べない、じめじめとする嫌な季節の始まりです。しかし、梅雨時の雨は、ダムなどの貯水等、重要な役割を担っています。そして、米づくりにもなくてはならないものです。入梅の時期が、田植えの目安になっています。雨が降らないと、米づくりには大打撃となり、農家の方々が困ってしまいます。このようなことは、話し方や内容を工夫しながら、毎年子どもたちに話していきたいことです。四季がはっきりしている日本の一つの特徴なので、このような話を伝えることは、大切にしたいと思っています。



この頃の学校風景！

前号で少し紹介しましたが、6月9日（木）には、縦割り班の顔合わせ会がありました。本来は6月6日（月）に予定していましたが、雨天で延期となりました。当日は、色別の全体会から



スタートしました。その後、班ごとに自己紹介をして、ゲームを少しして終わりました。1年生は緊張していたと思いますが、しっかりと自分の名前を言っていました。色リーダーや班長の指示をしっかりと聞いて、静かに整列できている姿は、とてもすばらしいと思いました。



その他の児童会活動も、順調に活動しています。全校児童が目指す児童会のスローガンは、理科室の廊下に掲示されています。



その反対側には、「玉小ツリー」（友だちの良いところ紹介）に花が咲き、本数が4本と増えてきています。



先々週には、体カテストのシャトルランが終わりました。子どもたちの安全な実施のため、事前調査や体調の管理など、いろいろご協力いただきありがとうございました。コロナ禍で行われるシャトルランは、今まで以上に配慮が必要でした。体育館内の人数を制限したり、間隔を広く開けたりと、

事前にしっかり打ち合わせを行い実施しました。また、実施中は、許す限り養護教諭もその場にいるようにしていました。呼吸が荒くなる運動ですので、熱中症対策も含めマスクを外して行う必要もありました。

5年生の様子



下の写真は、1年生が体力テストの立ち幅跳びを行っている様子です。

1年生の様子



今は、ボール投げに取り組んでいます。

今回は、先生方がのんびりも紹介させていただきます。

学校では、「目指す児童像」に向けて、先生方が目標を持って取り組んでいる校内研究というものがあります。話し合いを行う研究会は、子どもたちが下校した後に行っています。今年度は、先生方がお互いの授業を見る機会を少しずつ増やしながら、意見交換を行い、授業力の向上を図っています。この取り組みを通して、子どもたちの学力向上につなげていきたいと考えています。研究主任を中心に計画を立て、先生方一人一人が授業を実践しています。実践期間を校内では「OJT 週間」と呼び、数回に分け、一年間を通して何回か行う予定です。



自然と共に充実した林間学校

紹介が遅れてしまいましたが、5月30日（月）、31日（火）には、5年生の林間学校が実施されました。『自然にふれあい仲間と助け合って 絆を深めよう！』をテーマに、初めての宿泊行事をがんばりました。1日目には、「清泉寮山根ミュージアムガイドウォーク」「冒険ハイク」と、自然を学習すると共に、自然の中でたくさん体を動かしました。夜の「キャンドルサービス」は、5年生の気持ちが一つになる取組を、ローソクの灯りの中で行いました。2日目の「美し森絵図ハイク」では、少し天気が悪かったのですが、お互いに助け合いながら、長い山道がんばって歩きました。少し大人になった5年生のこれからの活躍を楽しみにしたいと思います。5年生保護者の皆様、体調管理等、ご協力ありがとうございました。

学生ボランティアの協力！

今年度は、山梨大学の協力のもと、5名の学生ボランティアの方々が子どもたちの支援に来てくれています。大学教授の推薦と、学生の希望で来てもらっています。（甲斐市として「中学生対象の自学講座」に参加していただいている取組と同じものを、学校独自に梨大へお願いしています。）授業中の支援だけでなく、休み時間も子どもたちといっしょに遊んでくれていて、来るのを楽しみにしている子どももいます。5名全員が礼儀正しく、子どもたちに寄り添って活動してくれています。とても有難く思っています。（健康チェックは、学校職員と同じように行っていますのでご安心ください。）



